

日本地球化学会 2009 年度 第 1 回評議員会 議事録

日時：2009 年 2 月 14 日（土）13:00～18:20

場所：海洋研究開発機構東京事務所

出席者：蒲生俊敬会長、海老原充副会長、石橋純一郎、小畑元、鈴木勝彦、角皆潤、平田岳史、益田晴恵、南雅代（以上幹事）、天川裕史、鍵裕之、中塚武、奈良岡浩、野尻幸宏、日高洋、松本拓也、三村耕一、柳沢文孝、坂本尚義（以上評議員）

1. 2009 年度評議員の承認

植松光夫会員が 2009 年度の評議員となることが、蒲生会長から提案され承認された。

2. 2008 年度第 3 回評議員会議事録の承認

3. 報告事項

(1) 庶務（小畑幹事）：

【科学研究費補助金】(文部科学省) 平成 21 年度科学研究費補助金 研究成果促進費「研究成果公開発表(B)」の申請書提出(11.6)(1,280 千円,「放射線と宇宙」); (日本学術振興会) 平成 21 年科学研究費補助金研究成果公開促進費「定期刊行物」(GJ)計画調書提出 (5,100 千円, 11.6); 平成 20 年度科学研究費補助金研究成果公開促進費「定期刊行物」の状況報告書提出 (1.15) 【研究助成等】2008 年第 2 回鳥居基金助成 1 件採択するが辞退 (1.21) 【後援・共催等】(共催)日本質量分析学会「第 57 回質量分析総合討論会 2009」(5.13 - 15, 大阪); (社)日本アイソトープ協会「第 46 回アイソトープ・放射線研究発表会」(7.1 - 3, 東京)(村松康行会員を運営委員として派遣); (後援) 日本地下水学会他 4 団体「第 15 回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会」(6.18 - 19, 名古屋) 【庶務その他】故酒井均名誉会員への供花・弔電 (9.30), 故鳥居鉄也名誉会員への供花・弔電 (10.17); 機関別認証評価委員会専門委員候補者を(独)大学評価・学位授与機構に推薦(10.28); 東京大学地震研究所についての「全国共同利用・共同研究拠点認定要請書」を送付(9.30); 「はやぶさ」後継機に関する声明文を文部科学大臣, JAXA 理事長, 科学技術政策担当大臣に送付(10.28); 日本学術会議科学者委員会「新公益法人法への対応及び学協会の機能強化のための学術団体調査」への回答(12.25); 1 月末日を締め切りとし, 「地球化学」への広告募集を行った (1.9); 学会賞各賞・鳥居基金への推薦・応募状況(学会賞 3 名, 奨励賞 4 名); 鳥居基金(海外渡航 5 名, 国内研究集会 2 件) 【幹事会】2009 年 2 月 7 日 13:00～18:20 第 1 回評議員会の議事内容について整理した(出席: 蒲生, 海老原, 石橋, 小畑, 佐野, 鈴木, 角皆, 平田, 益田, 南の各幹事)。

(2) 会計（南幹事）：

2008 年度の決算についての途中経過が報告された。広告収入や印刷費の支払いはまだ終わっていないが、概ね予算通り執行されていることが報告された。

(3) 会員（角皆幹事）：

2008 年 9 月から 2009 年 1 月までの会員異動について報告があった。

【入会】

(9 月)

学生会員（学生バック）

- 9282507 小泉 早苗 コイヰミ ヲカ
東京大学大学院理学系研究科化学専攻地球化学研究室
- 9282529 山口 保彦 ヤマガチ ヤシコ
東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻
- 9282551 佐藤 蓉子 サトウ ヲコ
横浜国立大学環境情報学府環境生命学専攻地球環境コース
- 9282561 飯野 倫裕 イノ トキコ
富山大学大学院理工学教育部生物圏環境科学専攻環境化学計測 2 研究室
- 9282563 柏原 輝彦 かしハラ ヒロコ
広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻表層環境地球化学研究室
- 9282572 小野 森弘 オノ モリコ
名古屋大学環境学研究科都市環境学専攻
- 9282573 深海 雄介 つかみ ヲウタ
東京工業大学大学院理工学研究科地球惑星科学専攻
- 9282575 藤原 早絵子 フジワラ サキコ
名古屋大学環境学研究科地球環境科学専攻地球化学講座
- 9282577 出水 翔 イヰミ ショウ
九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻有機宇宙地球化学研究室

(10月)

一般正会員

- 9282568 ORBERGER, BEATE
Universite Paris Sud XI, Departement des Sciences
- 9282583 石川 晃 イシカワ アキラ
海洋研究開発機構
- 9282584 松四 雄騎 マツシ ヲウキ
東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻
- 学生会員 (学生バック)
- 9282571 平松 裕亮 ヒラマツ ヲウタ
名古屋大学環境学研究科都市環境学専攻
- 9282574 橋口 未奈子 ハシグチ ミナコ
北海道大学理学院自然史科学専攻
- 9282579 吉田 加奈子 ヲシダ カナコ
富山大学理工学教育部生物圏環境科学専攻
- 9282587 杉本 雅明 スギモト マサアキ
東京大学理学部地球惑星環境学科

(11月)

学生会員 (学生バック)

- 9282578 堀 真子 ホリ マコ
広島大学理学研究科地球惑星システム学専攻地球環境進化学グループ

(12月)

学生会員 (学生バック)

- 9282586 中尾 武史 ナカオ タケミ

九州大学化学専攻

(1月)

一般正会員

9282591 芳川 雅子 ヲカ マコ
京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設

9282592 新城 竜一 シンジ ヲウ リウイチ
琉球大学理学部地学系

9282593 福土 圭介 フチ ケイスケ
金沢大学環日本海域環境研究センター

9282595 倉本 能行 クラト ヲシキ
北海道檜山北高等学校

学生会員(学生パック)

9282585 江端 新吾 エハタ シンゴ
北海道大学大学院理学研究院自然史科学専攻

9282589 萩原 崇史 ハジハラ タカシ
富山大学理工学教育部生物圏環境科学専攻張研究室

9282590 馬瀬 輝 マセ アキラ
東京大学海洋研究所新領域創成科学研究科/自然環境学専攻/無機化学研究室小畑元

准教授

9282596 山田 健太郎 ヤマダ ケンタロウ
東京工業大学大学院理工学研究科地球惑星科学専攻

【退会】

(9月)

名誉会員

4280491 酒井 均 2008/9/30 逝去

(10月)

名誉会員

9280656 鳥居 鉄也 2008/10/16 逝去

(11月)

なし

(12月)

シニア会員

4280714 山本 俊夫

5281299 橋本 哲夫

一般正会員

1281606 宮崎 昭仁

1282122 成川 正広

1282304 帆足 雅通

2280923 嶋田 純

2282277 西村 智佳子

3281196 千葉 茂

3281613 宮崎(金嶋)明子
3281862 草地 功
4280189 片瀬 隆雄
5280223 城戸 勝利
5281512 古山 勝彦
5281534 殿内 重政
6281430 藤原 祺多夫
6281593 相馬 悠子
7281790 尹 松
7282131 野田 雅一
8280608 高松 信樹
8280675 和田 英太郎
8281232 清水 明
8281276 石坂 信之
9281008 川嶋 宗継
9281655 鈴村 昌弘
9282467 石井 英一

学生会員

9282391 伊藤 美穂
(1月)

一般正会員

2281201 鹿野 和彦
2281256 三田 勲
6281087 吉田 則夫
8281425 高原 弘幸
9280582 宮本 霧子
9282407 川島 龍憲
9282501 玉城 喜章

学生会員(学生パック)

9282455 寺西 源太
9282456 南野 友里
9282468 奥村 友幸
9282473 古川 由紀子
9282476 後藤 久範

【除名】

(12月)

一般正会員

281443 阿部 泰行
282141 小松 秀倫
1280298 松本 英二
2282233 平原 由香

8280288 松井 正和
8282123 長井 孝一
学生会員
9282365 藤井 彩子

【会員種別変更】

(9月)

会員番号	会員名	変更前	変更後
9282387	中島 美和子	学生正会員	一般正会員
2280547	杉崎 隆一	シニア正会員	名誉会員
6280691	綿抜 邦彦	シニア正会員	名誉会員

(10月)

1282304	帆足 雅通	学生正会員	一般正会員
7280553	鈴置 哲朗	一般正会員	シニア正会員

(11月)

なし

(12月)

3280595	高岡 宣雄	一般正会員	シニア正会員
3280647	渡久山 章	一般正会員	シニア正会員
3281088	土器屋 由紀子	一般正会員	シニア正会員
6280594	高江洲 瑩	一般正会員	シニア正会員
7280423	大塚 治子	一般正会員	シニア正会員
7280519	島田 允堯	一般正会員	シニア正会員
6282235	山口 裕康	学生正会員	一般正会員

(1月)

8282286	岡本 千里	学生正会員	一般正会員
9282418	荘山 英敏	学生パック	学生正会員
9282420	塚本 英智	学生パック	学生正会員
9282443	小池 庸代	学生パック	学生正会員
9282448	江守 建太	学生パック	学生正会員
9282457	川名 華織	学生パック	学生正会員
9282460	柏木 祐	学生パック	学生正会員
9282461	遠山 知亜紀	学生パック	学生正会員
9282462	上野 弘貴	学生パック	学生正会員
9282466	山崎 絵里香	学生パック	学生正会員
9282469	高田 雄一郎	学生パック	学生正会員
9282470	山崎 秀策	学生パック	学生正会員
9282472	横山 隆臣	学生パック	学生正会員
9282479	飯塚 理子	学生パック	学生正会員
9282480	昆 慶明	学生パック	学生正会員
9282483	冬野 正史	学生パック	学生正会員
9282484	山口 和宏	学生パック	学生正会員

9282485	中村 高志	学生パック	学生正会員
9282486	山岡 香子	学生パック	学生正会員
9282487	鈴木 和博	学生パック	学生正会員
9282488	菊池 麻希子	学生パック	学生正会員
9282489	代田 里子	学生パック	学生正会員
9282490	楠田 千穂	学生パック	学生正会員
9282491	岨 康輝	学生パック	学生正会員
9282493	大森 一人	学生パック	学生正会員
9282495	白石 智一	学生パック	学生正会員
9282499	丸山 匡臣	学生パック	学生正会員
9282502	竹谷 裕	学生パック	学生正会員
9282474	奥村 文章	学生パック	一般正会員

2009年1月31日現在の会員数

	正会員（一般）		（学生） 通常	（学生） 学生パック	（シニア）	賛助会員	名誉会員	計	（海外会 員）
2008/8/31	948	(778)	(54)	(60)	(56)	11	9	968	(38)
入会	+7			+19				+26	+1
退会	-30	-1		-5	-2			-38	-1
逝去							-2	-2	
除名	-6	-1						-7	
種別変更(増)	+5	+27			+7		+2	+41	
種別変更(減)	-7	-4		-28	-2			-41	
海外へ移住									+2
海外より帰国									-1
2009/1/31	927	(747)	(75)	(46)	(59)	11	9	947	(39)
参考 2008/1/31	918	(746)	(81)	(34)	(57)	11	9	938	(37)

(4) 編集：

a. GJ(佐野幹事代理，鈴木幹事)：

2008年、Vol. 42 No. 6が12月末日に発行され、2009年1月の初めに会員に配布されたことが報告された。また2009年Vol. 43 No. 1は2月末に配布する予定であるとの報告があった。2008年9月から2009年2月5日までに38編の論文が投稿され、受理及びほぼ受理された論文が1編、却下された論文が12編、審査中の論文が23編、AE選考中の論文が2編あることが報告された。

現状では受理された論文数が少なく、今後ページ数が減少する恐れのあるため、評議員には積極的にGJに論文を投稿してもらいたいとの要請があった。この問題に対処するために、特集号を編集することや、評議員から積極的にReview論文を推薦して貰うことなどが提案された。学会賞等受賞論文については、これまで「地球化学」に掲載されていたが、希望があれば、英文の論文をGJに掲載すべきとの提案も行われ、認められた。さらに、学会賞等

受賞細則に「受賞者は、学会賞等に関わる内容の論文を学会誌に投稿するものとする。」という文言を入れるべきとの議論があった。具体的な文言は第2回評議員会で議論される予定である。

また、今後のGJの長期的な方向性についても議論が行われた。高レベルな雑誌を目指して審査を厳しく保つべきか、特色のある論文を掲載すべきかという議論が行われた。このような編集方針については、Chief Editorが積極的なリーダーシップを発揮すると同時に、学会全体として議論していく必要があることが確認された。この問題については将来計画委員会でも議論していくこととなった。

編集長から、GJが広く読まれるようにするための方策として、(1)非会員がGJ誌の論文をウェブページからカード支払いで1報ごとに論文を購入できるようにする(2)会員がパスワードを入れないと、閲覧できない論文を、最新の2年から1年に短縮するという2点の提案があり、承認された。

b. 地球化学 (益田幹事) :

2008年度の編集状況について、4号まで予定通り発行されたことが報告された。2008年度は11編の報文を受け付け、うち8編が受理、2編が審査中、1編が却下となった。総説は2編を受付、2編を受理した。その他として、序文を1編、追悼記事を3編受付、受理した。2009年度は、7編の報文を受け付け、うち4編が受理、3編が審査中、となっている。受賞記念論文は1編受付、現在審査中である。また、評議員に対し、博士を取得した会員が周辺にいれば、博士論文抄録の投稿を働きかけるように依頼があった。新たに論文投稿の際のカバーレターが作成されたこと、宇宙化学関係の特集号を今年度出す予定であることが報告された。

c. ニュース (石橋幹事) :

a.

ニュースレターNo.195を発行し、ニュース電子メール版 2008No. 112-162, 2009No.001-030までの81件を発信したとの報告があった。また、2009年1月に2週間ほどメール配信にトラブルがあったことが報告された。さらに、ニュースレターNo.196の編集予定が示された。

(5) 広報 (鈴木幹事) :

(1) 広報委員の新メンバー(横山祐典会員, 小畑元会員, 高橋嘉夫会員, 丸岡照幸会員)について報告があった。

ホームページのフロントページで、学会員の最新の研究成果を紹介していることが報告された。ここでは、GJに掲載された会員の論文も紹介していくこととなった。また、2008年度の学会・研究会でのパンフレットの配布実績が報告された。2009年度 Goldschmidt 会議では、プログラム冊子に1ページの広告を載せることになった。さらに、地球化学会からの講師派遣については、講師の紹介と仲介を主に行うことが確認された。

(6) 行事 (平田幹事) :

2008年日本地球化学会年会報告について、セッション数(28)、講演数(423)、参加者総数(533)が報告された。また、日本地球惑星科学連合2009大会が、2009年5月16日(土)~21日(木)にかけて、幕張メッセ国際会議場にて開催されることが報告された。地球化学のレギュラーセッションとして「固体地球化学・惑星化学」(C104:代表コンピーナ下田玄会員),「大気化学」(F118:町田,谷本委員ほか),「水循環・水環境」(H124:近藤,嶋田委員ほか),「火山の熱水系」(V170:江原,鍵山,篠原ほか),スペシャルセッション分野横断型セッション

では「隕石解剖学」(J235:代表コンピーナ伊藤正一),地球化学共催セッションでは「地球環境の将来予測のための古気候・古環境情報の統合に向けて」(複数の学会の共催),「地球化学的手法による顕生代のグローバル環境変動解析」(代表コンピーナ加藤,鈴木委員)などが計画されていることが報告された。

また,ゴールドシュミット国際会議が2009年6月21日~26日にかけてスイス・ダボスで開催され,要旨投稿,参加申し込み受付中であること(要旨投稿締切2月22日,参加受付締切5月1日)が報告された。今年も会議に対して日本地球化学会からUS\$3000の学生旅費援助を行う予定である。協賛学会として日本地球化学会のロゴがホームページ上で表記されているとともに,日本地球化学会会員が参加登録を行う場合に割引料金での登録が認められる(50ユーロ程度免除される)ことが報告された。2010年はアメリカ・テネシー州ノックスビルにて,2010年6月13日~18日にかけて開催予定である。

さらに,2009年日本地球化学会年会の準備状況について日高評議員から報告があった。2009年度日本地球化学会第56回年会は,2009年9月15日(火)~17日(木)の3日間の予定で広島大学において開催される。年会実行委員長は清水洋会員。開催形式は,第55回年会(東京大学)と同じセッション提案型を採用する予定である(募集締め切りは2月21日)。各種学会賞・学生ポスター賞の授与式,総会,夜間集会を開催する予定である。また,9月13日(日)には公開講座を開催する予定であることも報告された。さらに,2009年度日本地球化学会年会(広島大学)にあわせて,年会前日(9月14日(月))に第4回ショートコースを開催する予定である。現在,講師依頼中であることが報告された。

(7) 各種委員会:

a. 名誉会員推薦委員会(海老原委員長)

1月にメールによる議論を行ったが,今後時間をかけて議論を継続することが報告された。

b. 将来計画委員会(海老原委員長)

将来計画委員会(海老原充,鍵裕之,平田岳史,三澤啓司,山本鋼志,奈良岡浩,益田晴恵,山下勝行)の海老原委員長から下記のような提案が行われた。

- ・名簿の発行について:国際文献印刷(株)が会員情報管理・閲覧システムであるMy Pageの提供を提案しており,導入の方向で検討を進めてはどうかという提案があった。2009年は従来通り名簿号を発行し,2010年度以降,MyPageを運用してそのオプションの機能を検討する。2011年度からMyPageの正式運用を目指す。会員に対しては,本年度のアンケートを通じて意見聴取を行うこととなった。
- ・年会の開催形式について:2008年度年会において全てのセッションをセッション提案型とし,大きな成功をおさめた。今後もこの形式で年会を開催するのが望ましいと考えられるが,セッション提案型の年会を行うと,LOCに対する実務的な負担が増加する。そこで,年会の開催様式はLOCが決定し評議員会はこれを最大限に尊重するとともにLOCの要請に応じて,支援を行うことが提案された。支援の具体的な内容については,行事幹事が仲介して評議員と協議する。この年会支援体制は2009年度年会(広島大学)から運用を開始することが認められた。
- ・評議員の選挙方法について:地域ごとの会員分布のアンバランスや,時代の趨勢を考慮して,地域ブロック制の廃止が提言された。評議員候補者を投票する際の参考情報として,氏名,所属機関,会員種別のほかに研究分野を併記させることが提案された。この件については,名簿調査の際のアンケートで会員から意見を聴取することとなった。選挙の細則変更については,第二回評議員会で議論されることとなった。学生会員からも評議員が選出されるように学生会員をエンカレッジすることが提言された。しかし,むしろ委員会活動や評議員会にオブザーバ

ーとして参加してもらい、意見を聞く方が良いという意見も出された。エンカレッジする方法については、今後の検討課題となった。

- ・会誌の発行について：「地球化学」について、年2回の発行へと減らしてはどうかとの意見が出されたが、発送方法の変更に伴う郵送費の推移を見ながら今後検討することとなった。Geochemical Journal (GJ)については、「論文誌としての質の低下」と「会の財政への近い将来の大幅負担増の可能性」という問題が提起された。しかし、将来計画委員会では、学会におけるGJの位置付けや、長期的な展望など、大きな議論をして欲しいという要望が出され、今後、GJ編集長と編集委員が将来計画委員会の議論に加わり、検討していくことが確認された。編集の技術的な問題については、今後編集委員会で検討していく。

c. 「地球と宇宙の化学事典」編集委員会など（蒲生会長）

項目の洗い出しがほぼ終了し、3月に出版社と執筆依頼前の打ち合わせを行う予定であることが報告された。また、地球化学教科書第8巻の編集作業が進行中であることの報告があった。

d. その他

蒲生会長から、2009年度学会賞等受賞者選考委員会委員長は植松光夫会員、2009年度鳥居基金委員会委員長は中井俊一会員に委嘱することが報告され、承認された。

(8) 連合関係：

- ・日本地球惑星科学連合各種委員会

日本地球惑星科学連合キャリアパス支援小委員会に、日本地球化学会から津野宏会員を推薦したことが報告された。また、2009年度ゴールドシュミット会議対応委員は、下田玄会員が担当することが報告された。

(9) その他：

- ・第3回国際地学オリンピックについて、瀧上評議員(代理蒲生会長)から、準備状況の報告が行われた。
- ・日本学術会議 IAGC 小委員会の現状について海老原副会長から報告があった。
- ・国際文献印刷が学会誌の発送業務を行わないことになったため、学会誌の発送法が変更されることが報告された。
- ・GJ 電子版パスワードの新しい取得法について、電子メールで会員に周知したことが報告された。
- ・名簿号の発行についての予定が報告された。例年通り、現状の調査を行うとともに会員に対するアンケートも行う予定。質問は「名簿号の発行について」と「評議員選挙方法について」となる予定。
- ・東京大学海洋研究所に対して、共同利用・共同研究拠点のサポートレターを出すことが報告された。会員からの要請に応じて、共同利用・共同研究拠点のサポートレターを発行するが、発行については会長が判断することが確認された。

4. 審議事項

(1) 国際文献委託業務の契約（小畑幹事）：

国際文献印刷との業務委託，ホームページ制作業務委託，大会関連業務委託について，2009年度の契約書案が小畑庶務幹事から示された。学会誌の発送法の変更や値上げされる部分についての説明が行われ，原案のまま承認された。また，大きな値上げが行われていないかを契約の際注意することが確認された。

(2) テラパブとの覚書 (小畑幹事) :

2009年度のGeochemical Journal出版について,テラパブとの覚書案が小畑庶務幹事から提案された。刊行物売り上げは例年と同程度であることが確認され,原案のまま承認された。

(3) 退会手続きの詳細について (角皆幹事) :

角皆会員幹事から新たな退会手続きの方法についての提案があった。これまで退会届は郵送文書のみで受付され,e-mail やファックスでの提出を認めていなかった。しかし,現状では半数程度の退会希望会員はe-mail やファックスで退会届を送ってくるため,その都度文書を請求するなど事務的に煩雑となっていた。また,事務局から郵送での届出をお願いしても,以後音信不通になるなどの例も見られた。そこで,現状の郵送に加えてe-mail やファックスでの退会届け提出も可とし,HPに明記することが提案された。ただし本人意志確認のため,届け出に際して捺印した書類を送ってもらうこととなった。具体的には,HPに退会届けの記入フォーム(pdf)を用意し,ダウンロードした上で記入・捺印してもらう。記入・捺印済みの退会届けを郵送,ファックス,もしくはスキャンしてpdf化した上でe-mail添付で事務局に提出してもらうこととする。この新しい手続きが承認された。

(4) 日本地球惑星科学連合への対応 (蒲生会長) :

一般社団法人日本地球惑星科学連合に,日本地球化学会が団体会員として加盟するかどうか議論された。評議員会においては,団体会員としての加盟が承認された。最終的には総会での承認を得て加盟の手続きを行うこととなった。また,日本化学連合との今後の関係についても同時に議論されたが,今後の動向を見ながら判断することとなった。

(5) 会計管理規定について (南幹事) :

学会の会計について,会計管理規定を設けることが南会計幹事より提案された。原案について字句の修正が行われ,最終案をメールによる審議の後に承認することとなった。

(6) 将来計画委員会からの提案について(海老原委員長) :

GJの今後の方針については,将来計画委員会にGJ編集委員が加わり議論することとなった。また,評議員選挙,名簿号の発行については,会員へのアンケートの結果を参考に,次回の評議員会で具体的な手順を検討することとなった。

(7) 選挙管理委員会について(蒲生会長) :

2009年度に行われる役員選挙については,東京大学海洋研究所の評議員を中心に構成することとなった。天川裕史評議員が委員長を務めることとなった。

(8) その他 :

評議員会議事録は,学会HPの「学会からのお知らせ」のページに掲載されている。しかし,現状では次の評議員会で確定した議事録を掲載しているため,掲載に少なくとも3ヶ月は掛かっている。この状況を改善するため,評議員会開催後1ヶ月を目処に,メールで承認された議事録を議事録(案)として学会HPに掲載することが石橋ニュース幹事より提案され,承認された。

5. 次回の評議委員会・幹事会の日程

2009年第2回幹事会:2009年5月30日(土) 海洋研究開発機構東京事務所

2009年第2回評議員会:2009年6月 メール会議